

会 報

No. 134 2014年(平成26年 3月 6日)

サポート・トレッキング・グループ

事務局 呉市焼山政敵1-12-13

ホームページ サポ-ト・トレッキング・グループ

☎・Fax兼用 0823-33-5836

1. 2月 3日 中国自然歩道 深山の滝～二艘木 川の流れを堰止め護岸を壊す木を水の中で切る
横断溝の掘り下げ 倒れかかった竹の切り取り。絵下山から帰りの若者と出会う
2. 2月 4日 深山の滝～二艘木 横断溝6か所 枯れ木4か所 整備
3. 2月 13日 灰が峰 道路の下側～七曲りの登山路整備。会員募集チラシ印刷 登山路へ吊り下げ
2カ所100枚 階段の補強 枯れ木の伐採。一週間前の雪が多く残り路がぬかるむ
4. 2月 16日 廃材垂木 2m×3.5cm×3.5cm 18本に防腐剤を塗る 「宮岡(奈) 宮岡
5. 2月 20日 ひろしまみどりづくりインホオメーション会議 (G I C) 広島市中区
里山活用プロジェクト・森づくり安全活動事業・3/16広島の講演会について
6. 2月 21日 1mの半丸太を3/1に切り、縦に半分に割って先を尖らせて 杭36本作製
7. 2月 22日 灰が峰 第三番目休憩所～平原 廃材垂木3.5×3.5×200cm 3本を一組に釘打ち6
組を担ぎ、現地調達の長さ6・3・1・1mの資材と両方で路肩を補強 佐藤 宮岡
8. 2月 26日 灰が峰 第3番目休憩所～平原 路の倒木 大物は直径5～60cm 16本の切断
9. 3月 1日 灰が峰 七曲りと銀明水の2か所に路肩補強に鉄棒1m・木製杭1m各2本を打ち込む
滑りやすい急坂に、以前担ぎ上げた竹2本で長さ11mの手すりを作製
10. 3月 2日 例 会
ところ 灰が峰 登山道路 第2番目展望台(トイレあり)～七曲り 登山路
参加者 八條 濱崎 柱野 西谷 檀上 千田 佐藤 兼田 石橋 火田
広兼 福馬 宮岡(奈) 宮村 山本 山本(高校生) 片山正志(初) 宮岡
男性15名 女性3名 計18名
内容 昨夜の雨で粘土質で大変滑りやすく、何度も転びながらの作業
○倒れかかった高く大きな木の切断に何人も手を変えて苦労して切断、重量
が有り容易に離れず、同志の知恵でやっそこきて倒す、グループの効果。
○落ち葉が多く足元が滑りやすくいつになくしんどい作業
○枯れ木を切断後でもわずかに先端が他の木にかかって容易に倒れず手間取る
○猪がしっかり路を荒すので路幅確保が難しい
○滑り止めに階段を約90段掘り込む
○水路確保に掘り込む ○2/26の切断した倒木の撤去作業
初参加 片山正志氏(黒瀬町)「佐藤氏に紹介されて面白そうで参加した。よく滑ったが
参加して楽しかった、又参加したい」
初参加予定の神戸市の俊成孝司氏風邪のため来月の予定に延期「元旦登山で当会の会員
募集チラシを見た、実家が呉にあり年に5～6回参加したい」と電話をいただく。
11. 3月9日(日)東広島市 憩いの森 山のグランドワーク 呉信焼山支店7時30分集合 正午まで作業
参加予定者 檀上・山本・兼田・広兼・橋本・森本氏 宮岡 マイカーで乗合
12. 3月16日(日)講演会 「里山のこれまでとこれから」13:30～17:00 広島国際会場 乞う出席
13. 次回のご案内
と き 平成26年4月6日(日)午前九時～正午
と ころ 灰が峰 七曲り ～登山路
集 合 灰が峰 山頂登山道路 第三番目展望台(トイレ無) 当会の幟が目印



久しぶりに見る雪景色 ハイカーが作った雪だるま 2/13



表情豊かに作られたウサギの像 作者不詳 2/13



切断撤去前の倒木 2/13



倒木切断後 2/13



枯れ木(手入前)



枝が絡み合う倒木(手入前)



第二展望台道路下の階段にて



暫しの休憩(合流地点にて)



絡み合う倒木(切断前)



悪戦苦闘の末やっと倒木を切断撤去



路肩を丸太で補強後



廃材垂木で路肩を補強



垂れ下がった松の枯れ木



枯れ木の撤去作業中



整備作業中



夥しい倒木(手入前)



切断撤去前の倒木



切断撤去前の倒木



路肩補強後



急坂部に竹で手すりを作る



どこのハイカーが作ったか、表情豊かなウサギの雪像 2/13



路肩補強作業中



後列左から：宮村、西谷、兼田、石橋、宮岡(奈)、浜崎、山本(孫)、火田、山本、八條
前列左から：広兼、壇上、千田、佐藤、柱野、福馬、片山



「うまい！」コーヒータイム